

2学年だよ！「瞬間善処」

広島市立落合中学校
第2学年
平成24年10月19日(金)

広島市立落合中学校 「基礎・基本」定着取り組みについて

6月12日(火)に『基礎・基本』定着調査を実施しました。その状況報告をします。課題を克服できるように学習指導も工夫していきたいと思えます。参考資料としてご活用してください！

～平成24年度「基礎・基本」定着調査状況報告～

国語

県平均 81.0% 市平均 78.5% 学校平均 71.1%

昨年度の課題

- ◆「文の成分」についての理解が十分でない。
- ◆「文脈の中でそれぞれの語句がどんな意味になるか」についての理解が十分でない。
- ◆文章の展開を広い視野でとらえることが苦手である。

本年度取り組んでいる事項

- ◆毎時間小テスト・漢字練習を行って漢字や語句の意味など「語彙力」の定着を目指す。
- ◆論理的思考力を養うために、段落と段落の関係やキーセンテンスに注目させ、文章全体を視野に◆入れて内容をとらえることが出来るように指導する。
- ◆基本的な「表現力・語彙力・読解力」の定着のため、週末課題や小論文などの課題に取り組ませる。

平成24年度「基礎・基本定着状況調査」の結果より現在の重点課題

- ◆「ことばのきまり」を十分に理解していない。
- ◆自分の考えを、理由を示しながら、筋道立てて書くことができない。
- ◆物語の中で、人物の心情の変化を様々な表現から読み取ることが苦手である。

重点課題に対応した改善する指導内容および方法

- ◆辞書を積極的に活用させて、「語彙力」をつける。
- ◆授業の中で、文の成分を意識させる指導を丁寧に行う。
- ◆「書くこと」については、「推敲(ことばを選ぶこと)」に力を入れた指導を行う。
- ◆「読むこと」については、とくに人物や出来事の関係に注目させて、文章を読み取れるように指導する。

数学

県平均 74.1% 市平均 71.9% 学校平均 59.9%

昨年度の課題

- ◆図形における面積や体積についての理解が十分でない。
- ◆数量と数量の関係を理解することが十分でない。
- ◆数量の意味・意義をとらえることが苦手である。

本年度取り組んでいる事項

- ◆プリントを用いて、めあてやポイントを明らかにしたり、演習問題を多くできるようにする。
- ◆教材提示装置を用いて視覚的にとらえることができるようにする。
- ◆グループによる学び合い学習を積極的に行う。
- ◆週末課題により家庭学習の習慣の定着をはかる。

平成 24 年度「基礎・基本定着状況調査」の結果より現在の重点課題

- ◆分数や累乗、複雑な面積の計算が苦手である。
- ◆文章を式で表すことが苦手である。
- ◆割合や比例をうまく使うことができない。
- ◆すでに習ったことを使って考えることが苦手である。

重点課題に対応した改善する指導内容および方法

- ◆計算力や文章を式で表す能力を向上させるために、演習を多く行う。
- ◆すでに学んだことを活用する力をつけるために、グループで意見を交わしながら問題に取り組む場面をつくる。

英語

県平均 74.2% 市平均 72.2% 学校平均 60.2%

昨年度の課題

- ◆学習習慣の定着が不十分である。
- ◆英語に苦手意識をもっている。
- ◆「聞くこと」から「書くこと」へのスムーズな移行ができていない。

本年度取り組んでいる事項

- ◆リスニング能力の向上を図るため、リスニング活動を定期的に行っている。
- ◆基礎的な英語を活用する能力の向上を図るため、さまざまなタイプの問題に取り組んでいる。

平成 24 年度「基礎・基本定着状況調査」の結果より現在の重点課題

- ◆まとまりのある英語の文章を聴いて、質問に答える能力が十分でない。
- ◆自分の考えや気持ちを相手に伝えるように書く能力が十分でない。

重点課題に対応した改善する指導内容および方法

- ◆ことばの意味やよく使う表現・文法を十分身につけさせるために、反復練習を行う。
- ◆英語で表現する能力を向上させるために、書く活動をより多く取り入れる。とくに、スキット(対話文)を作成・発表させたり、英作文に取り組ませたりする。

ちよっといい一言

『“為しあわせ”という言葉が“幸せ”と言う言葉の語源になりました。つまり、幸せとは、お互いに“してあげる”ことを言うのです。』

.....保護者の皆様のご意見があればお願いいたします！